

平成 18 年 11 月 10 日

各位

会 社 名 株式会社ラック
代 表 者 名 代表取締役社長 三輪 信雄
(JASDAQ・コード 4359)

会 社 名 エー・アンド・アイ システム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 牧野 敏夫
(Hercules・コード 4773)

共同株式移転による経営統合に関するお知らせ

株式会社ラック（本社：東京都港区 代表者：三輪信雄 以下「LAC」）とエー・アンド・アイ システム株式会社（本社：東京都中央区 代表者：牧野敏夫 以下「A&I」）は、平成 18 年 11 月 10 日開催の各取締役会において、各社の株主総会の承認を条件として、共同株式移転により両社の完全親会社となる持株会社を設立し、対等の精神で経営統合することにつき、基本合意いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 経営統合の背景と目的

LAC は、ネットワークセキュリティのトータルソリューションサービス（セキュアネットサービス事業）ならびにシステムインテグレーション事業を通じて、官公庁・企業・団体等に安心と安全を提供してまいりました。

一方、A&I は、コンサルティングサービス、ソリューションサービス、システム開発サービスを事業領域として、主に官公庁・地方自治体・企業等に情報サービスを提供してまいりました。特に企業においては金融機関の基幹系業務システムの開発に多数の実績を有するほか、情報・通信業、人材派遣業などの Web 系システム構築に強みをもっております。

現在の市場環境といたしましては、IT の浸透により情報化社会が進行するなか、個人情報保護法ならびに今後予定される財務報告にかかる内部統制の報告義務化の導入等により、新たな情報システムの構築や、情報セキュリティ対策の強化に対する社会的関心が一層高まってきております。システム開発段階から情報セキュリティ対策を施す等の同時複合的な構築が求められるとともに、それらに対してスピード感ある対応が求められております。

更に、提供するサービスの品質・価格・納期等に対するユーザーの選別眼は、ますます厳しいものになってきております。こうしたユーザーニーズに応えるためには、システムの構築からセ

セキュリティ対策の強化まで一貫した、そして信頼性の高い、高度なトータルソリューションサービスを提供できる総合力のある企業体制が求められております。

このような環境下のなか、LACとA&Iは、平成17年2月18日発表の資本・業務提携により協力体制をもって経営を進め、金融業界市場および人材派遣業界市場にセキュリティ対策を施したシステムを提供し、一定の評価を得てまいりましたが、新たな業界市場への参入ならびに競争が激化するIT業界において多様な案件への対応能力を備えるべく、更なる関係強化、即ち経営統合を実現することが両社の成長を加速させ、企業価値を向上させる最良の策と判断いたしました。

統合方法につきましては、協議を重ねた結果、統合効果・目的のスムーズな実現と両社の従業員のモチベーション維持向上の観点等から、共同株式移転による持株会社設立による経営統合が最良と判断いたしました。経営統合は対等の精神で実施することで基本合意し、今後、具体的な検討に入ることとなります。

この度の経営統合は、LACの強みである情報セキュリティ技術と、A&Iの強みであるエンドユーザーにおけるシステム構築および運用の技術を相互に融合させることで、より高い付加価値を創造し、最大限のシナジー効果を実現すると共に、業務の効率化ならびに継続的な生産性向上による収益力の強化によって、持続的に企業価値を高めることを目的としております。

具体的な目的と経営統合により見込める効果は以下のとおりです。

① 市場拡大

A&Iが得意とする金融業界市場ならびに人材派遣業界市場の更なる拡大が可能になります。特に金融、人材派遣業界市場においては情報セキュリティ対策が重要視される市場であり、LACの情報セキュリティ技術とA&Iのシステム構築および運用技術の複合提供により、市場拡大と深耕を図ることが可能となります。

② 案件規模の拡大とエンドユーザーへの対応

両社の人的リソースの共同活用によって、従前にも増した更なる大型案件対応が可能となります。また、セキュリティからシステム構築にいたる一貫したノウハウおよび人材リソースの拡大により、ユーザーニーズの詳細な把握とシステム開発体制を備えることが可能になり、エンドユーザーへの対応能力が向上します。

③ 新市場への参入

LACの情報セキュリティ技術とA&Iがもつシステム構築および運用技術の統合により、開発段階から情報セキュリティ対策を施す新サービスの提供が可能となり、新たな業界市場への進出が可能となります。

④ 付加価値の向上

LACの強みである情報セキュリティ技術とそれらに関わるコンサルティングノウハウ、A&Iの強みであるエンドユーザーに向けたシステム構築技術と運用ノウハウ等、両社の強みを生かした総合的サービスを提供することで、付加価値向上を図ります。

⑤ 合理化

品質管理、技術研究、プロジェクト管理、一般管理業務等の間接業務の統合・合理化を図ることにより、サービス品質のレベルアップと生産性の向上が可能です。

2. 株式移転の概要

(1) 株式移転の日程

平成 18 年 11 月 10 日	基本合意書締結
平成 18 年 12 月 31 日	LAC 定時株主総会基準日
平成 19 年 1 月 24 日 (予定)	株式移転計画の取締役会承認
平成 19 年 2 月 9 日 (予定)	A&I 臨時株主総会基準日
平成 19 年 3 月 28 日 (予定)	LAC 株式移転計画承認定時株主総会 A&I 株式移転計画承認臨時株主総会
平成 19 年 4 月 29 日 (予定)	A&I の上場廃止日
平成 19 年 6 月 26 日 (予定)	LAC の上場廃止日
平成 19 年 7 月 2 日 (予定)	株式移転の日 (持株会社設立登記日)

ただし、今後手続きを進めるなかで、止むを得ない状況が発生した場合は、日程を変更することがあります。

(2) 株式移転比率

株式移転比率については、近日に実施するデューディリジェンスの結果および第三者機関の評価等を踏まえ、今後、両社協議のうえ決定いたします。

(3) 持株会社の概要

持株会社の代表取締役社長は、現在、両社の筆頭株主で、LAC の創業者かつアドバイザーボードの一員であり、A&I の取締役会長でもある三柴元の就任を予定しております。

その他の商号等の詳細につきましては、今後、両社協議のうえ決定いたします。

(4) 持株会社の上場

持株会社は、ジャスダック証券取引所に新規上場申請を行うことを予定しております。LAC および A&I は株式移転により持株会社の 100% 子会社となりますので、持株会社の上場にとまない、上記日程となった場合には、LAC に関しましては平成 19 年 6 月 26 日に、A&I に関しましては平成 19 年 4 月 29 日に上場廃止になる予定です。尚、上場廃止につきましては LAC はジャスダック証券取引所の、A&I は大阪証券取引所へラクレス市場の規則によりその期日が規定されているものであります。

(5) 両社の新株予約権 (ストックオプション) に関する取り扱い

LAC および A&I は、株式移転により上場廃止となる予定です。両社が発行している新株予約権 (ストックオプション) についての対応は、今後、協議のうえ、お知らせいたします。

3. 経営統合委員会

経営統合の推進のため、「経営統合委員会」を設置し、統合に必要な諸準備にあたるものとしします。

4. 株式移転当事会社の概要

(1) 株式移転当事会社の概略 (特段の記載のあるもの以外は、発表日現在のものとします。)

商号	株式会社ラック	エー・アンド・アイ システム株式会社
事業内容	ネットワークセキュリティのトータルソリューションサービスおよびシステムインテグレーションサービスの提供	ソリューションサービス、システム開発サービスおよびコンサルティングサービスの提供
設立年月日	昭和 61 年 9 月 3 日	昭和 62 年 5 月 1 日
本店所在地	東京都港区新橋三丁目 26 番 4 号 (同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「東京都港区東新橋一丁目 5 番 2 号」で行っております)	東京都中央区日本橋箱崎町 16 番 9 号
代表者	代表取締役社長 三輪信雄	代表取締役社長 牧野敏夫
資本金	1,159 百万円	1,259 百万円
発行済株式数	64,998.81 株	9,433,700 株
純資産	1,960 百万円 (平成 18 年 6 月 30 日現在)	2,440 百万円 (連結: 2,501 百万円) (平成 18 年 6 月 30 日現在)
総資産	2,726 百万円 (平成 18 年 6 月 30 日現在)	6,742 百万円 (連結: 6,845 百万円) (平成 18 年 6 月 30 日現在)
決算期	12 月 31 日	3 月 31 日
従業員数	457 名	568 名 (連結: 612 名)
主要取引先	アリカファミリー生命保険会社 株式会社インフォセック 日本アイ・ビー・エム株式会社 住商情報システム株式会社 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	日本アイ・ビー・エム株式会社 日本情報通信株式会社 株式会社グッドウィル みずほ情報総研株式会社 株式会社ターフ・メディア・システム
大株主および持株比率	三柴 元 36.3% 三菱商事株式会社 4.6% 日本トラスティ・サービス 2.1% 信託銀行株式会社(信託口) 2.0% ラック従業員持株会 1.5% 三輪 信雄 (平成 18 年 6 月 30 日現在)	三柴 元 25.7% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 11.0% (日本アイ・ビー・エム株式会社特定包括信託口) 富士ソフト株式会社 7.8% エー・アンド・アイ システム従業員持株会 4.2% 株式会社ラック 4.0% (平成 18 年 9 月 30 日現在)
主要取引銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京 UFJ 銀行 株式会社りそな銀行 株式会社三井住友銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三菱東京 UFJ 銀行 三菱 UFJ 信託銀行株式会社 住友信託銀行株式会社

当事会社の関係	資本関係	LACはA&Iの株式を4.0%、A&IはLACの株式を1.5%保有しています。
	人的関係	A&Iの社外取締役会長である三柴元は、LACの創業者でアドバイザーボードの一員でもあります。その他、技術者の出向などによる人的交流があります。
	取引関係	セキュリティ事業およびSI事業において相互に営業協力を行っています。

(2) 株式移転当事会社の最近3年間の業績

【LAC】

(単位：百万円)

商号	株式会社ラック		
決算年月	平成15年 12月	平成16年 12月	平成17年 12月
売上高	3,809	5,200	5,841
営業利益	△596	223	228
経常利益	△630	165	204
当期純利益	△844	101	154
1株当たり(円)			
当期純利益	△14,316.33	1,662.87	2,387.89
配当金	0	0	1,000
株主資本	15,510.64	31,500.15	34,133.60

*LACは子会社を有していないため、連結決算は行っていません。

【A&I 単体】

(単位：百万円)

商号	エー・アンド・アイシステム株式会社		
決算年月	平成16年 3月	平成17年 3月	平成18年 3月
売上高	12,587	14,221	12,802
営業利益	519	573	472
経常利益	505	558	438
当期純利益	293	373	△1,532
1株当たり(円)			
当期純利益	40.85	53.38	△228.82
配当金	15	15	7.5
株主資本	356.21	392.56	146.15

【A&I 連結】

(単位：百万円)

商号	エー・アンド・アイシステム株式会社		
決算年月	平成 16 年 3 月	平成 17 年 3 月	平成 18 年 3 月
売上高	12,645	14,345	12,861
営業利益	531	603	514
経常利益	516	587	477
当期純利益	298	388	△1,516
1 株当たり (円)			
当期純利益	41.64	55.61	△226.39
株主資本	357.38	396.12	152.13

* A&I の単体・連結の業績は本日現在の決算数値を記載しております。

A&I は本日発表のとおり今後過年度決算数値を訂正する見込みであります。

5. 経営統合後の見通し

LAC と A&I は、それぞれ持株会社の完全子会社となります。持株会社はジャスダック証券取引所に新規上場申請を行うことを予定しております。

持株会社の戦略計画のもとで、LAC の強みである情報セキュリティ技術と、A&I の強みであるエンドユーザーにおけるシステム構築および運用の技術を相互に融合させることによって、サービスの付加価値向上ならびに既存市場の深耕と新たな市場への進出が可能となり、人的リソースの共同活用による案件対応力の強化により、マーケットシェアと売上の拡大が図れるものと考えております。

また、品質管理、技術研究、プロジェクト管理、一般管理業務等の間接業務の統合・合理化を進めることによって、原価低減・経費削減・高い生産性が実現し、収益率を向上させることが可能です。

上記の統合効果によって、単独では達成し得ない業績の進展が実現できると考えておりますが、経営統合後の持株会社および両社の具体的な業績見通しについては現在作成中でありますので、明らかになり次第、お知らせいたします。

以上

<本件に関するお問合せ先>

株式会社ラック	管理本部 広報室長	綱川浩一	TEL:03-5537-2600
エー・アンド・アイ システム株式会社	広報ファンクションマネージャー	山崎秀成	TEL:03-5640-6900